

# 経済・金融 フラッシュ

## ユーロ圏失業率(2021年6月) —失業率は7.7%、雇用環境の改善が続く

経済研究部 准主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

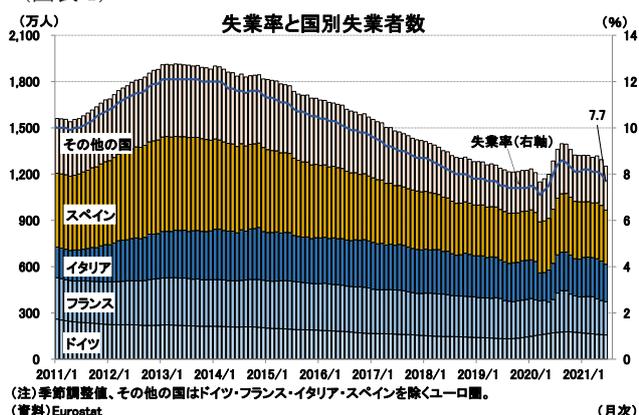
### 1. 結果の概要:失業率は7.7%まで改善

7月30日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

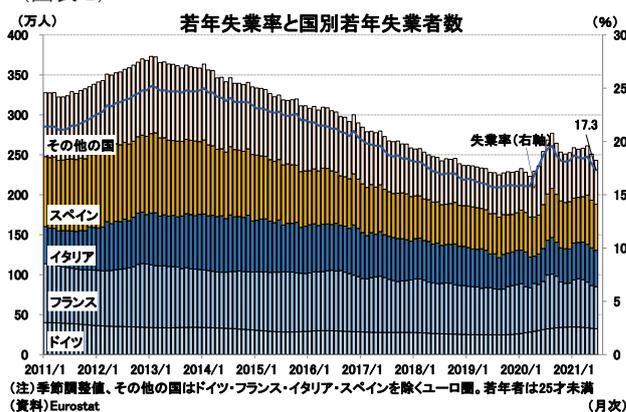
#### 【ユーロ圏19か国失業率(2021年6月、季節調整値)】

- ・失業率は7.7%、市場予想<sup>1</sup>(7.9%)より低く、前月(8.0%)からも改善した(図表1)
- ・失業者は1251.7万人となり、前月(1294.0万人)から42.3万人減少した

(図表1)



(図表2)



### 2. 結果の詳細:雇用環境は改善が続く

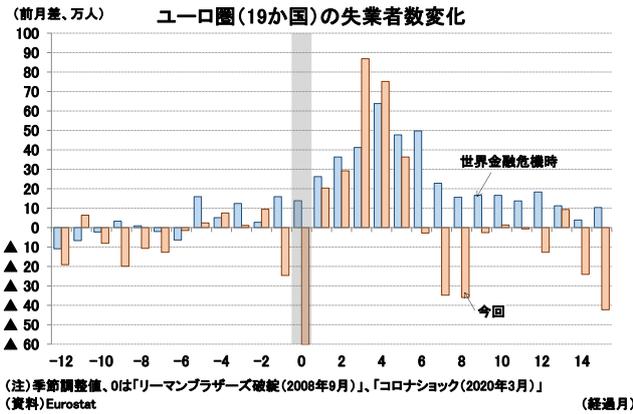
ユーロ圏の6月の失業率は7.7%と前月から低下した。前月までの改定値は5月が7.9%から8.0%と悪化方向にわずかに修正されたのみだった。失業者数は42.3万人減となり、6月に続いて2か月連続で10万人台の減少となった(図表3)。

6月の若年失業率は17.3%と5月(17.3%)から改善した(図表2)。前月までの改定値は4月(18.4→18.6%)と5月(17.5→17.9%)でそれぞれ悪化方向への改定となった。失業率・若年失業率ともに改定値がやや悪化方向に修正されたものの、足もとの数値はコロナ禍のピークと比較して低下が進んでいる(図表4)。また失業者数を時系列で追うと、昨年の7・8月および今年の5・6月に大きく減少しており、行動制限が緩和され経済活動が回復する時期に大きく改善していること

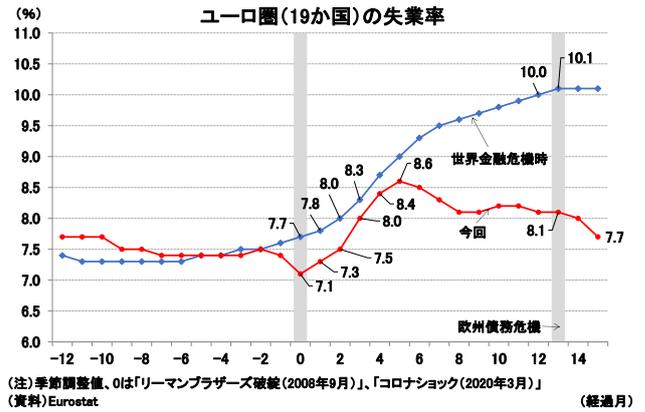
<sup>1</sup> bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

が分かる (図表 3)。

(図表 3)

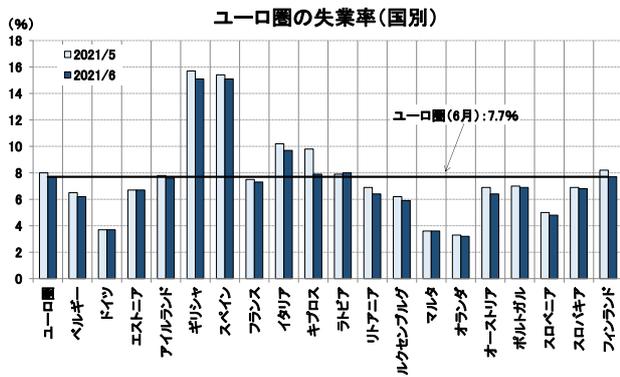


(図表 4)

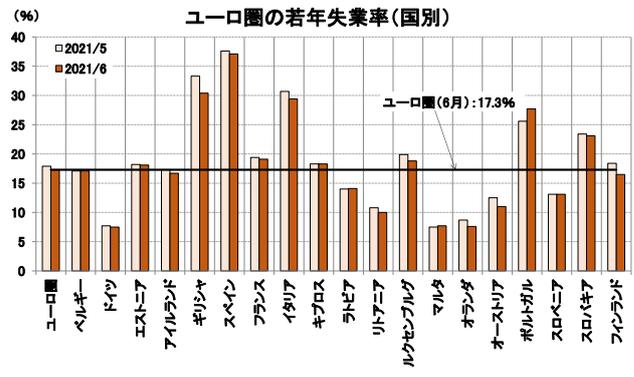


国別の6月のデータを見ると、19か国中悪化が1か国、改善が15か国、横ばいが3か国だった。また、若年失業率では悪化が3か国、改善が13か国、横ばいが3か国となった。失業率も若年失業率も多くの国で改善している (図表 5・6)。

(図表 5)

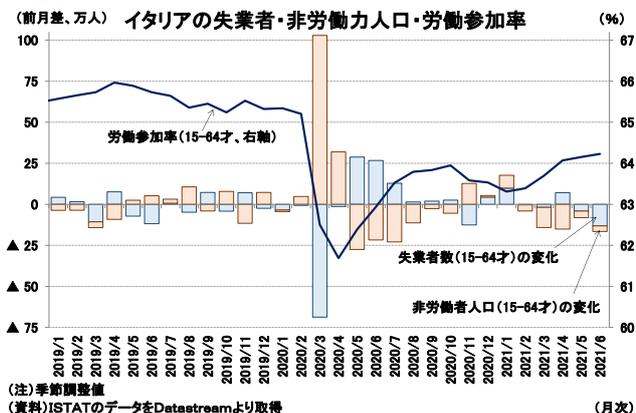


(図表 6)

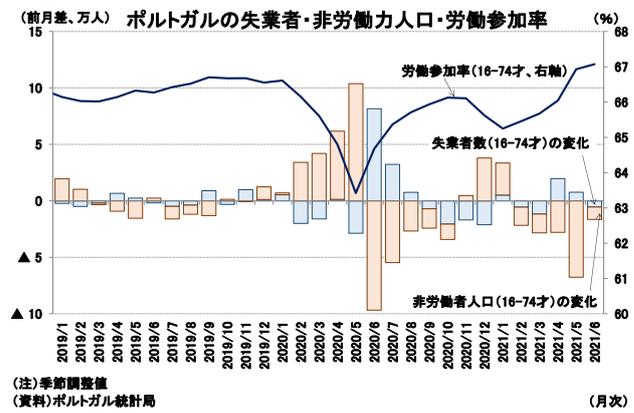


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、6月はいずれの国でも就業者数の増加、失業者数の減少、非労働力人口の減少となった (図表 7・8)。いずれの国でも非労働力人口の減少の傾向が継続しており、職探しを諦めた人の労働市場への参加が進んでいると見られる。特に、ポルトガルは労働参加率も足もとで急回復しており、失業率や労働参加率の数値はコロナ禍前の水準を回復した (ただし、ポルトガルでも若年失業率がコロナ禍前と比較して高水準にあるなど、雇用者の構成は変化している)。

(図表 7)



(図表 8)



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。